

LipoTEST Case Report Vol. 9

2010年11月

Case9: 脂質代謝改善治療により脂漏性皮膚炎が改善された秋田犬の一例

【Profile】

2010年動物臨床医学会年次大会 症例発表演題

- ・動物種: 犬
- ・品種: 秋田犬
- ・性別: 雌 (未避妊)
- ・年齢: 4歳10ヶ月
- ・体重: 36kg
- ・B.C.S = 3/5 (理想体重)

病歴:
病歴は特になし。
元気消失と沈鬱を呈し、身体一般検査で、
全身に顕著な脂漏と特有の臭気を認めた。



【検査】

院内検査

身体検査

・尾根背側の脱毛部には色素沈着。
臀部、外陰部には脂漏性の脱毛。
表在性のマラセチアは確認できず。

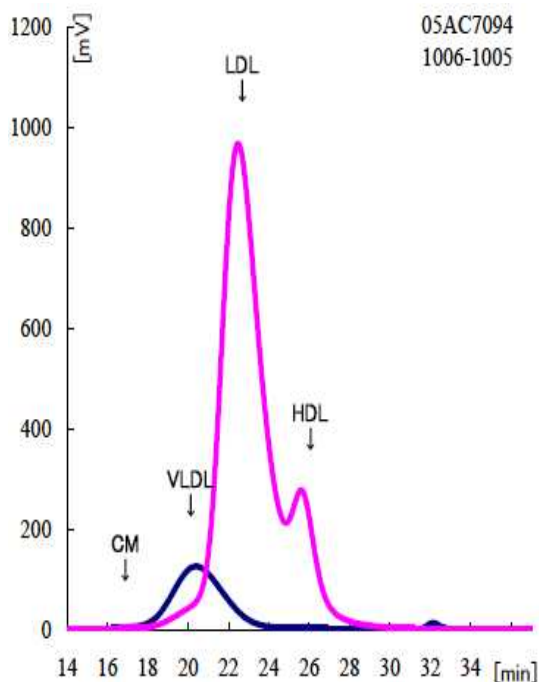
血液検査

・T-Cho 885mg/dl、TG 229mg/dlと脂質異常高値がみられたためLipoTESTを実施。
またfT4 (モノリス) 0.3ng/dlと低値を示したことより甲状腺機能低下症と仮診断。

LipoTEST検査所見 (1回目)

分類: パターン4・複合逆転型

- ・コレステロールの詳細解析の結果、LDLがHDL-Choよりも高い異常値を示した。
- ・中性脂肪もVLDL分画で異常高値を示した



LDLの異常高値のため、通常縦軸500mv上限のところ1200mvに上方修正

【治療計画】

- ・ 第1病日より甲状腺ホルモン製剤(レボチロキシナトリウム: THYROSYN 0.01mg/kg BID)、プラバスタチンNa製剤(メバロチン0.83mg/kg SID)および利胆剤(ウルソデオキシコール: ウルソ 8.3mg/kg BID)を入院管理の元で投与開始した。
- ・ 第6病日にLipoTESTのから治療の合理性を確認し、元気が回復したため退院。第60病日に再度LipoTESTを実施した。

裏面に続く

【LipoTEST 波形データの変化と皮疹の変化】

～ 1回目結果 ～ 第1病日



尾根背側部

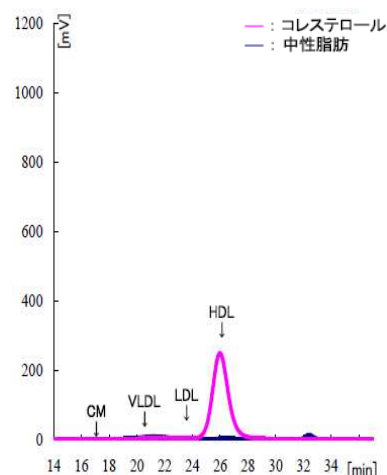
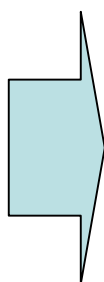
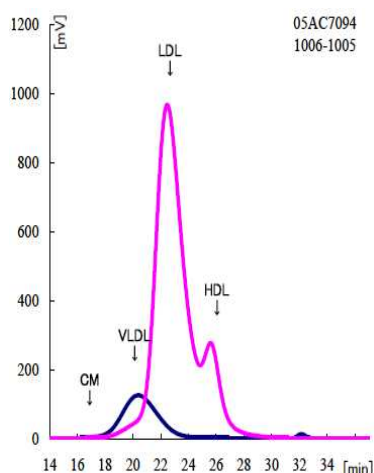
尾根～会陰部

～ 2回目結果 ～ 第60病日



尾根背側部

尾根～会陰部



【解析結果に基づく治療への評価】

- ・ 本症例のように湿性脂漏の皮疹を呈することは、マラセチアや細菌などによる二次感染を受けた時に多く見られるが、今回マラセチアは確認出来なかった。
- ・ 高LDLの改善に伴い、慢性の脂漏性皮膚炎の顕著な改善が得られたことから、過度の血中LDLの存在が皮膚の脂質過剰分泌に何らかの影響を及ぼしたことが推察された。
- ・ 高脂血症を伴う脂漏症の誘因として脂質代謝異常が加えられるべきで、その治療には脂質代謝改善治療が有効であることが示された。

症例提供:あかね動物病院 佐藤始 先生 (新潟県)

LipoTESTに関するお問合せ先
スペクトラム ラボ ジャパン 株式会社

* 検体送付キットの請求は、下記記入のうえ、FAX (03-5731-3631)にてご返送下さい。

病院名		氏名	
住所		TEL	

詳しい情報に関しては、LipoTEST Webをご覧ください。URL: <http://www.lipotest.jp/>